

小学校5年生 自然災害を防ぐ
第2時 ワークシート(B4サイズ)

さつま町での災害を防ぐ取り組み

<p>ど しゃ さい がい じょう ほう 土砂災害情報</p> 	<p>が け く ず れ 工 事</p> 	<p>かん 視 カ メ ラ</p> 	<p>ぼう さい 防災無線</p> 
<p>大雨が降って土砂災害が起こるおそれがあるときに、避難指示などの情報を住民に知らせるため、さつま町が防災行政無線や広報車などから呼びかけます。</p>	<p>くずれた土砂の一部を取り除き、がけの形を整えたり、セメントで表面を固めたりする工事をさつま町が行っています。</p>	<p>災害を防ぐために、国土交通省が川内川にかん視カメラを設置して、つねに川の様子を観察し、災害が起こりそうなときには、さつま町に知らせます。</p>	<p>住民へ防災情報を知らせるための無線通信システムです。さつま町が各家庭に設置しています。</p>
<p>てい ぼう 堤防</p>	<p>こう 水 ハ ザ ード マ ッ プ</p>	<p>ぶん す い る 分水路</p>	<p>なん かん ぼん 避難場所をしめす看板</p>
			
<p>大雨が降っても川があふれないようにするため、川の左右に堤防を作る工事を国土交通省が行っています。</p>	<p>しん水ひ害が起こりそうな場所や避難場所、避難するための道などが分かるように、さつま町が配っています。</p>	<p>川の水が増えたときに、水が流れる道を増やし、川の水をあふれにくくする工事を国土交通省が行っています。</p>	<p>こう水のとくにすみやかに避難できるように、日頃から避難場所がわかるような看板をさつま町が設置しています。</p>